

【第49回】 運輸政策セミナー

～ロンドンオリンピックの「レガシー」と 東京オリンピックへの展望～

- ①ロンドンオリンピックのレガシー構想とその評価
- ②2020年東京オリンピックへの展望

小澤考人 (t8ozawa@hotmail.co.jp)

【参考】なぜロンドンオリンピックか？

◆＜東京オリンピック2020の先行モデル＞

	ロンドン五輪2012	東京五輪2020
前史	1992五輪：バーミンガム立候補 × 1996 & 2000五輪：マンチェスター ×	2008五輪：大阪立候補 × 2016五輪：福岡 ×
立候補	2003年、ロンドン立候補 <u>2005年7月、開催地に決定</u> →	<u>2005年9月、東京立候補</u> ・・・2016失敗 ×、2020決定
背景	<u>都市計画「ロンドンプラン」</u> (2004年2月) →	<u>石原都政、青山やすし座長</u> <u>下で研究会</u> cf. 三大世界都市
特徴	「コンパクトシティ」 ⇒ 史上最もコンパクトな大会 →	「世界一コンパクトな大会」

21世紀にグローバル・シティの競合 ……2012年五輪招致 ～パリ・ニューヨークも立候補
(町村敬志「メガ・イベントと都市空間」(2007))

【参考】「ロンドンプラン」と「世界都市」



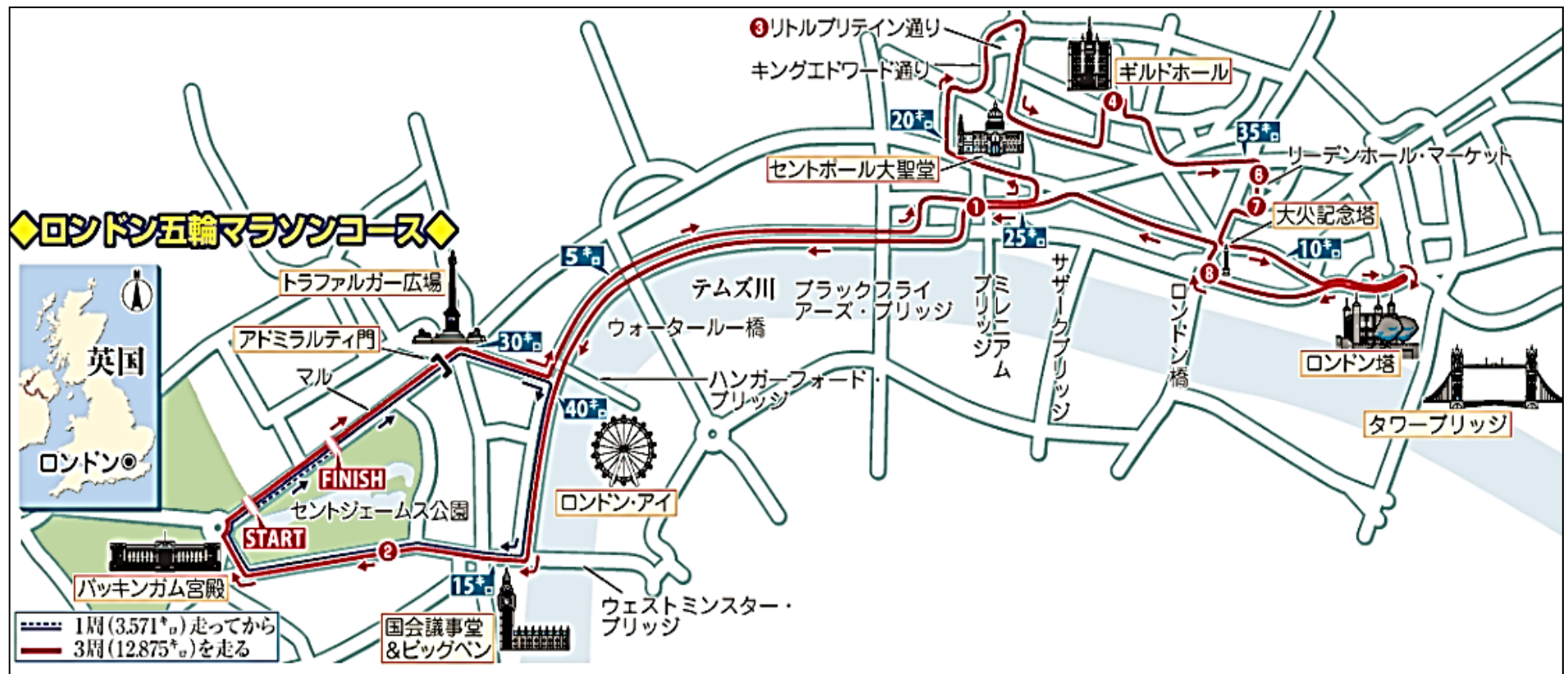
ケン・リヴィングストン市長(2001～2008年)



ボリス・ジョンソン市長(2008年～現職)

＜世界都市＝ロンドン・ニューヨーク・東京＞
(グローバルシティ←都市社会学者S・サッセン)

ロンドンオリンピックの会場エリア ～ロンドン中心部を周遊・展示するマラソンコース～



* 地図の東側テムズ沿いに
ノースグリニッジ会場エリア

東京オリンピック2020(会場予定地)



①ヘリテッジゾーン

1964年東京五輪の遺産
=施設の活用

②東京ベイゾーン

臨海部、新設会場多い

【メイン会場】

新国立競技場(←旧・改築)
…8万人収容、全天候型
総工費約1300億円
2019年3月完成予定

【マラソンコース】

メイン会場 ⇒ 皇居 ⇒
東京タワー ⇒ 銀座 ⇒
日本橋 ⇒ 浅草(折り返し)

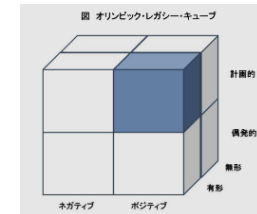
【コンパクトな大会】

90%近くの施設が、晴海・
選手村から半径8キロ以内

【参考】 IOCの「レガシー」構想(21世紀)

◆オリンピック憲章(第一条) cf.2001年～OGIインパクト研究

「オリンピック競技大会のよいレガシーを
開催都市および開催国に残すことを推進する」



◆「レガシー」を何で評価するか？

①「スポーツ」②「社会」③「環境」④「都市」⑤「経済」

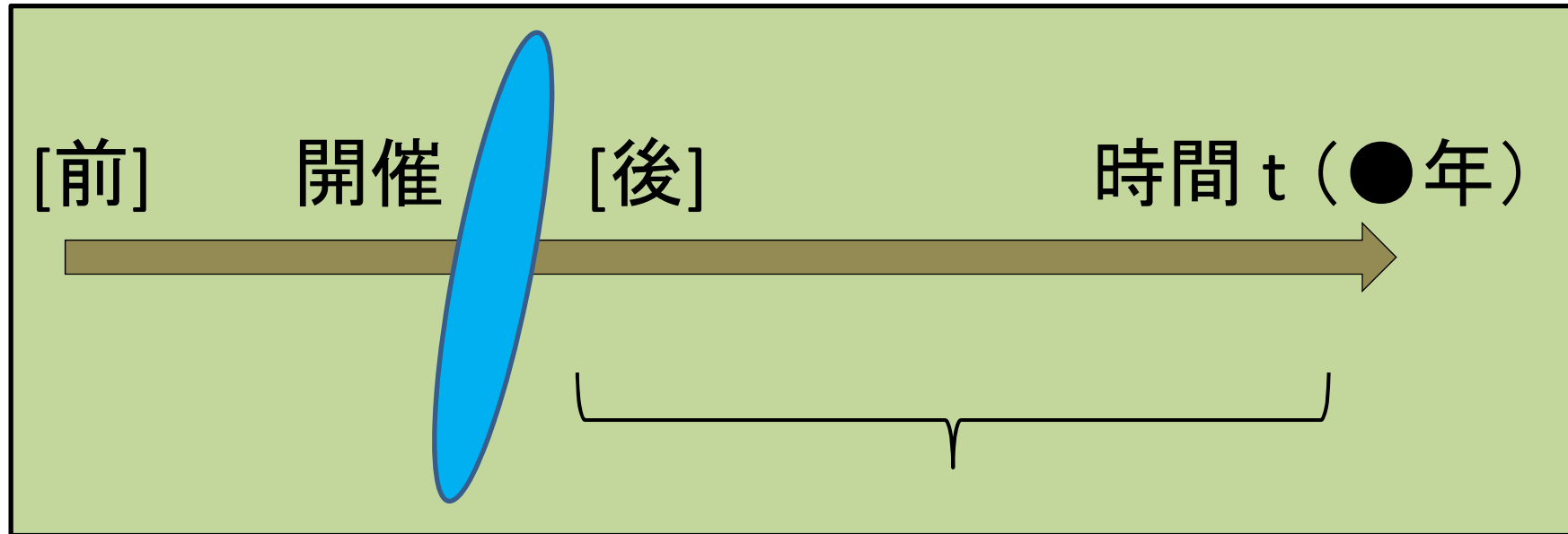
(a)「有形」・・・スポーツ施設、交通インフラ、都市再生、
都市の魅力・生活水準の向上など

(b)「無形」・・・ナショナル・プライド、文化・遺産の再発見、
環境意識の向上など

【参照】 “Olympic Legacy 2013” (IOC公式文書)

「レガシー」とは？

◆ひと言でいうと・・・



× 悪い事例



大会開催後に何が残るか？
何を残せるか？

cf. 「社会的課題の解決」

2005年7月、ロンドンオリンピック招致決定



DCMS=文化・メディア・スポーツ省

① ロンドン五輪2012のレガシー構想

◆「レガシー・アクション・プラン」(DCMS・2008年)

- ① イギリスを世界をリードするスポーツ大国とする。
- ② ロンドン東部の中心地域を変革する。
- ③ 若者世代を鼓舞 (inspire) する。＊地域の活動へ参加
- ④ オリンピックパークを持続可能な生活の青写真とする。
- ⑤ イギリスが住んだり、訪れたり、ビジネスを行うのに創造的で包摂的かつ人々を歓迎する場であることを内外に示す。

★2005年選考～ロンドン東部・再開発を明確に位置づけた点が好評

◆「2012年大会のレガシー計画」(DCMS・2010)

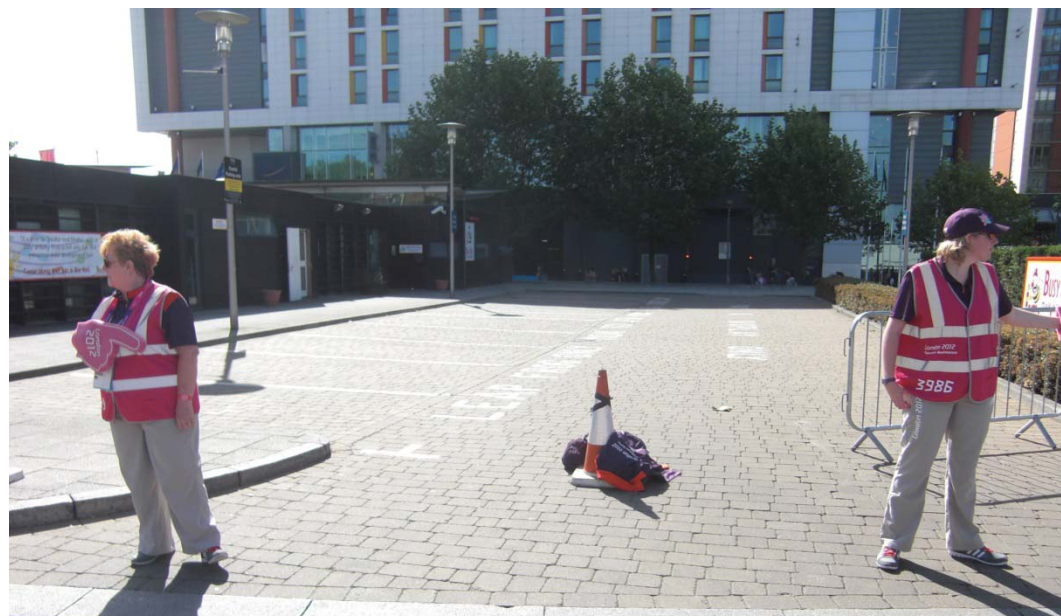
【参考】

- ①イギリスのスポーツへの情熱を生かし、草の根レベルのスポーツ参加人口(特に若者)を増やし、全国民がより身体を動かすよう奨励する。
- ②オリンピック開催による経済成長の機会を最大限に活用する。
- ③オリンピックをつうじて地域コミュニティの関与を奨励し、社会の全グループの参加を達成する。
- ④オリンピックパークが大会開催後も開発され、ロンドン東部再生の主要な原動力の一つとなるようにする。









(C)Dr. Takato OZAWA, Institute for Transport Policy Studies, 2014







ロンドン大会開催後のレガシー評価

～「近年で最も成功した大会」～

◆46億円(3000万ポンド)の黒字開催

【スポーツ健康】 選手助成増加(13%UP)、週1回運動増加(140万人)
学校スポーツ年間1.5億ポンド助成(2013年度)

【ロンドン東部・再開発】 パーク整備、交通インフラ投資65億ポンド
住宅整備1万1千個、1万人の新規雇用創出

【経済成長】 2020年までに280～410億ポンド、雇用創出62～90万人
失業者の雇用創出7万人、観光客・消費1～4%増

【コミュニティ強化】 ボランティア意欲・参加者増、新規10万人(昨年)
文化プログラム参加者4300万人、環境配慮

【パラリンピック】 障害者のスポーツ参加向上、支援助成増加
交通・都市インフラのアクセシビリティ向上

【出典】“Inspired by2012”

ロンドン東部・再開発エリア

【開催前】 ストラトフォード地区 「移民と労働者のまち」



・・・産業廃棄物の集積地として荒廃

【開催後】 公園・スポーツ、イベント空間、生活・雇用の場

- ・メイン会場跡地 ・・・「クイーンエリザベス・オリンピックパーク」
- ・施設の一部 ・・・スポーツ・スタジアムや市民プールなど
- ・選手村の施設 ・・・賃貸・分譲マンション cf.約1万戸, 3DK約8000万円
- ・国際放送センター ・・・ITビジネスの拠点 iCITY cf.英国版シリコンバレー
cf. iCITYに4500、周辺に2000の雇用創出

★< レガシー構想の核心が実現 > (Kassens-Noor[2012:85])

ロンドン東部ストラトフォードが、「住んでよし、訪れてよし、
ビジネスによしのコミュニティ」として再生しつつある。

クイーンエリザベス・オリンピックパーク



選手村マンション









ベロドローム(自転車競技場)



パブリック・アート「オービット」(展望台入口)



アクアティクスセンター(市民プール)



Icity (英国版シリコンバレー) ~ ビジネス空間



巨大ショッピングモール

◆ウェストフィールド・ストラトフォードシティ

- ・2011年9月、メイン会場に先駆けて完成(改修中も)オープン
- ・ストラトフォード駅～クイーンエリザベス・オリンピックパークの正面玄関
- ・ストラトフォード国内駅～ストラトフォード国際駅までの通路=広場
- ・ストラトフォード・シティの中核、膨大な来訪者の誘客・演出装置

★「住んでよし、訪れてよし、ビジネスによし」の
コミュニティという「レガシー」を支える中心的・
象徴的存在(！)

巨大ショッピングモール「ウェストフィールド」①



巨大ショッピングモール「ウェストフィールド」②







(C)Dr. Takato OZAWA, Institute for Transport Policy Studies, 2014









ロンドン東部の変容、新しい中心に

～イーストエンド＝これまで「英国で最も恵まれない地域」～

◆新しいロンドンの中心 ～戦略的フロンティアに

「ロンドン大会準備のためのオリンピックパーク周辺の巨大な投資・インフラ開発により、ドックランズ開発と共に30年前に始まったロンドン東部の再開発プロセスを加速させた。

ロンドン東部は、新しいロンドンの中心となり、首都の長期的な競争力・成長のための戦略的な重要性を高めている。」

◆ロンドンの他地域との「格差縮小」(convergence)

「今後20年で他地域と同じライフチャンスを楽しむだろう」

・・・かつて「閉鎖的なコミュニティ」「労働者と移民のまち」

格差縮小（豊かさ・貧困減少, 健康なライフスタイル, 成功したコミュニティ）

“Inspired by2012 : The legacy from the London 2012 Olympic and Paralympic Games”

ロンドン東部・イーストエンド地区





(C)Dr. Takato OZAWA, Institute for Transport Policy Studies, 2014



(C)Dr. Takato OZAWA, Institute for Transport Policy Studies, 2014



(C)Dr. Takato OZAWA, Institute for Transport Policy Studies, 2014

「集客都市」ストラトフォード ～【交通】ロンドン東部・再開発の総仕上げ～

①ストラトフォード国内駅

- ・地下鉄2本(セントラル&ジュビリー)
- ・ナショナル・レール cf. オーバーグラウンドを含む
- ・ドックランズ・ライト・レイルウェイ(DLR)
- ・クロスレール(2015年～予定)

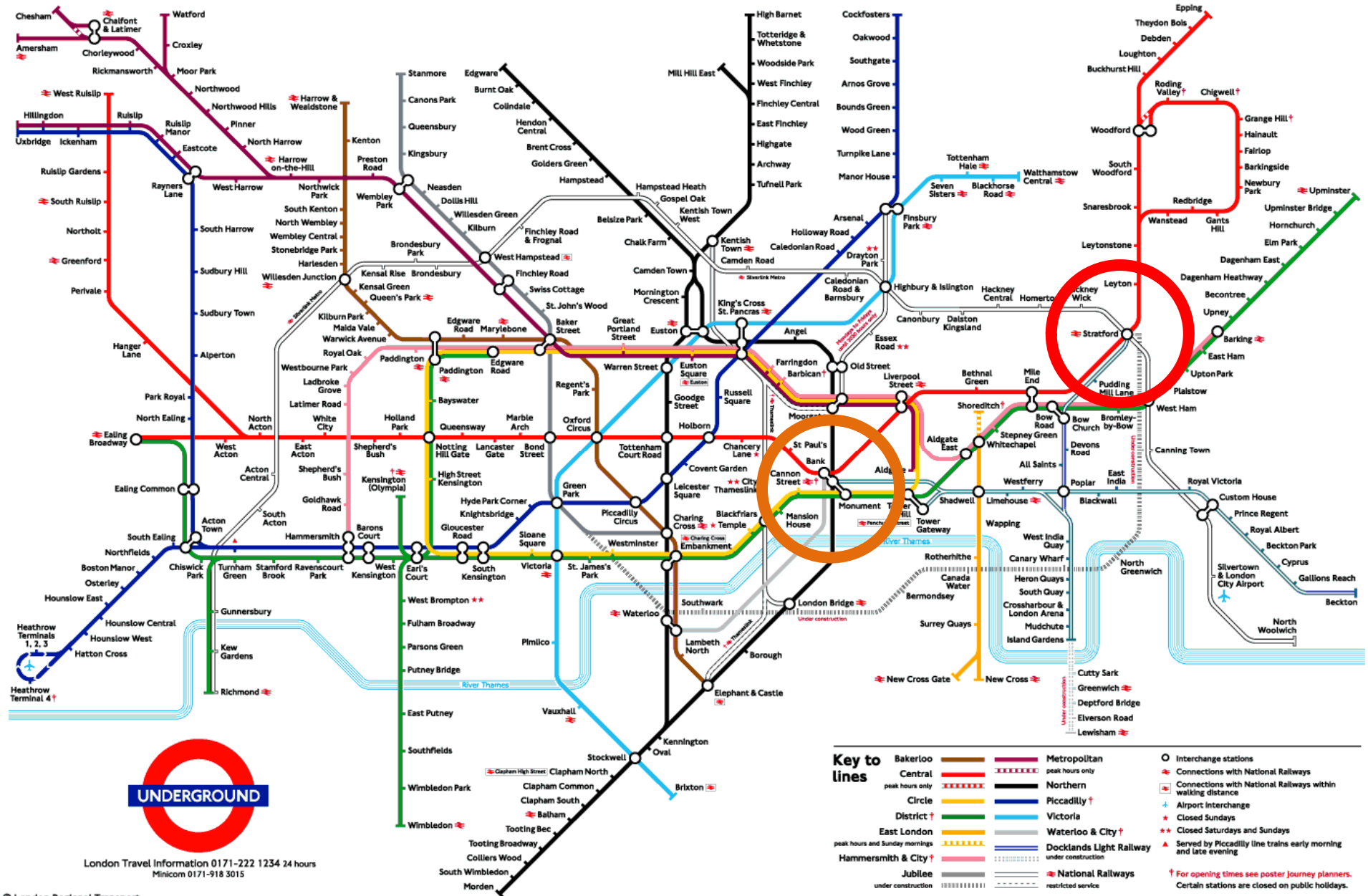


②ストラトフォード国際駅 ～セントパンクラス発

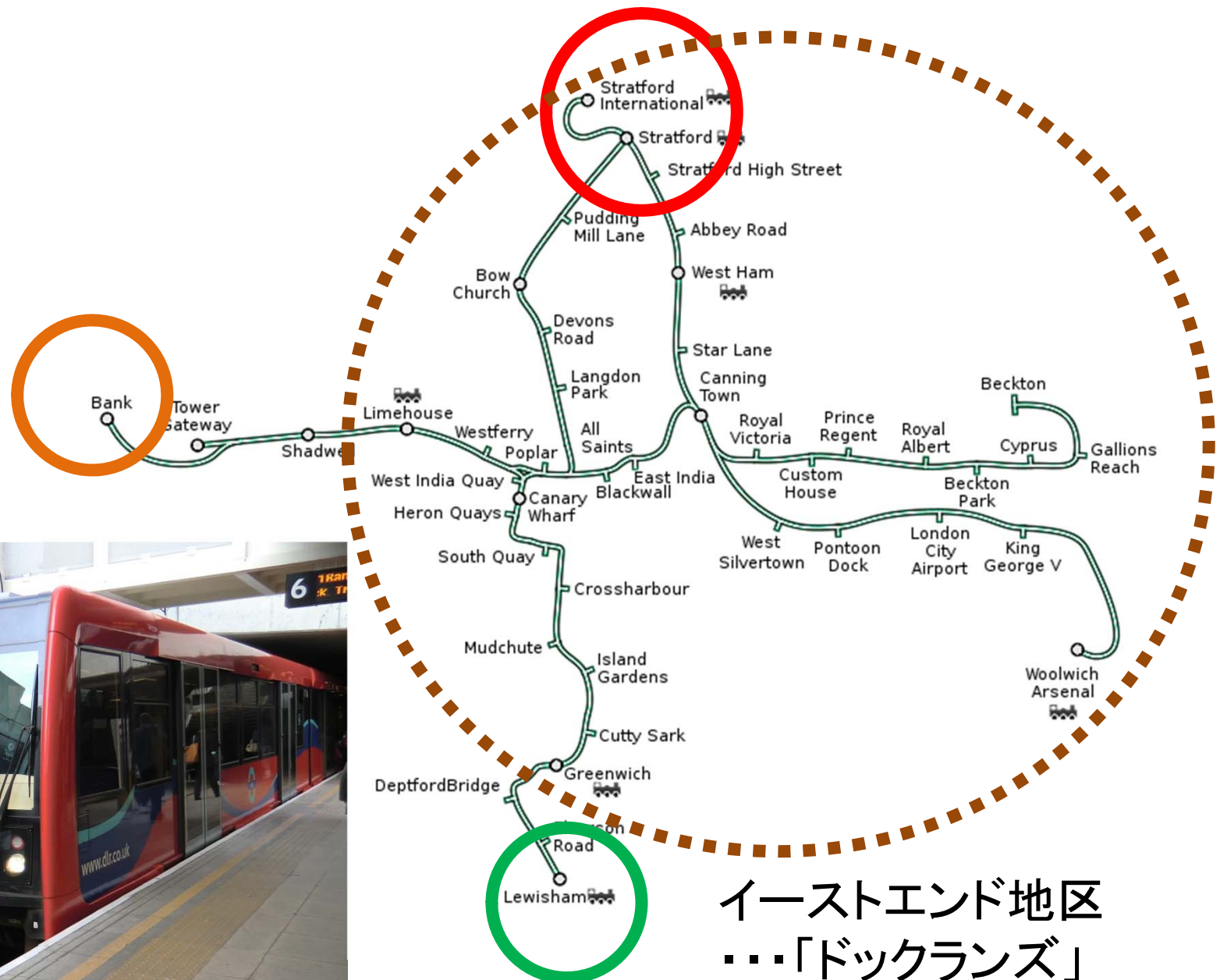
- ・ユーロスター
- ・特急ジャベリン



ロンドン地下鉄の路線図



ドックランズ・ライト・レイルウェイ(DLR)

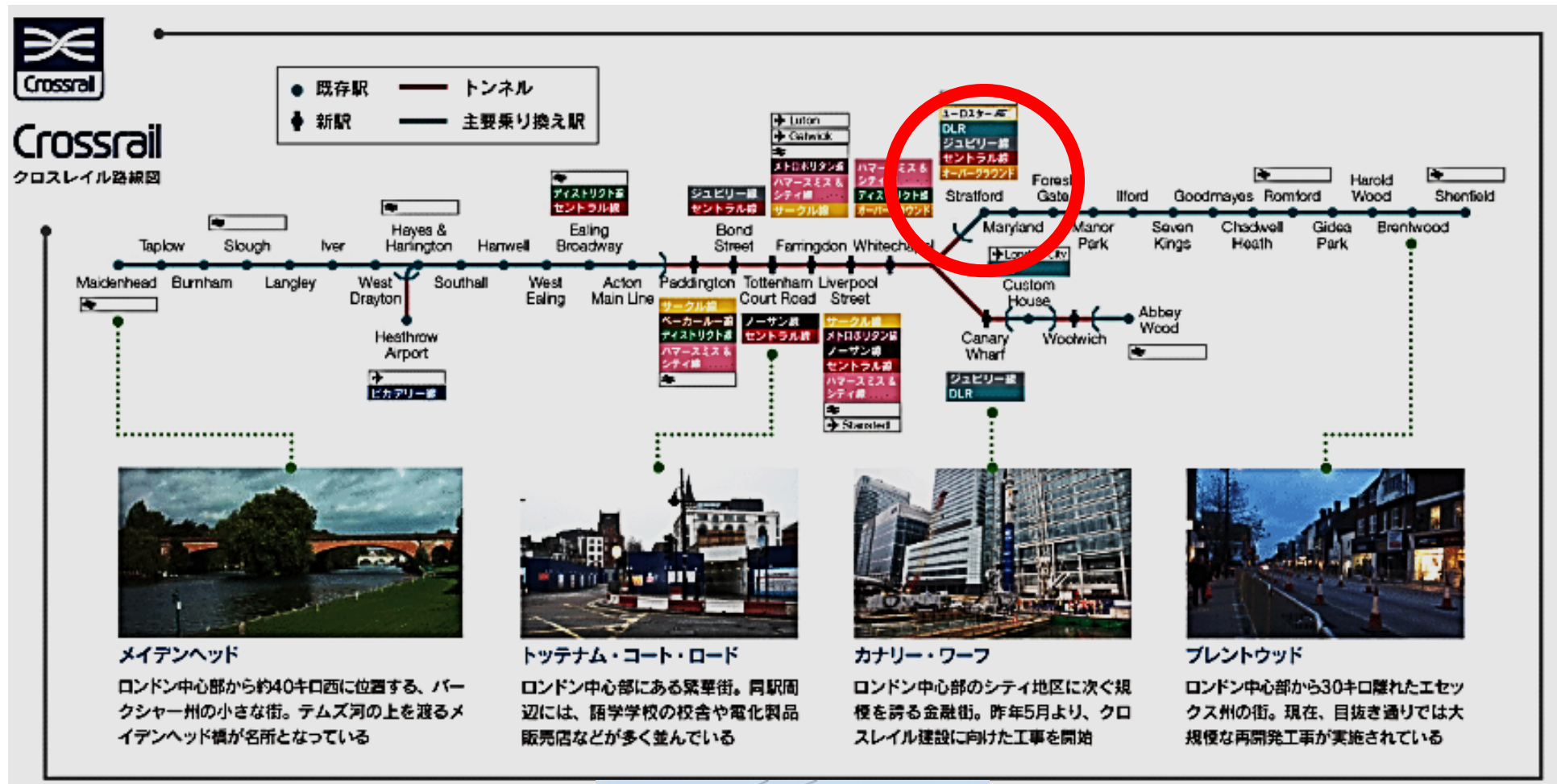


イーストエンド地区
…「ドックランズ」



(C)Dr. Takato OZAWA, Institute for Transport Policy Studies, 2014

クロスレール(2018年～開通予定)



【再考】 ロンドンオリンピックとは？



①「集客都市」ストラトフォードの誕生

⇒ イーストエンド地区に開放的な窓口

・・・人が「訪れて」安心かつ楽しい都市へ

②巨大「集客都市」ロンドン東部の一大拠点

⇒ 集客・観光の一大拠点 ～人の流れが東にも

・・・DLRなど「ドックランズ」再開発, ロンドン東部拡大

③「集客国家」イギリスの魅力・競争力向上

★さらに観光政策の「レガシー」を含め、あたかも

「観光のためのオリンピック!」 cf. キャメロン五輪・経済外交

【参考】ビジット・ブリテン(英国政府観光庁)

“GREAT キャンペーン”



GREATキャンペーンとは？

「GREATキャンペーン (グレート・キャンペーン)」は、英国のもつさまざまな可能性を全世界で紹介し、英国の観光やビジネスの機会を最大化することを目的としています。英国外務省、英国貿易投資総省 (UKTI)、英国政府観光庁、ブリティッシュ・カウンシルなどの在外公館・公的機関を通して、企業・団体などの英国の資産を横断的に紹介し、貿易・投資・観光のさらなる促進を図ります。

English (英語)、Culture (文化)、Knowledge (知識)、Creativity (創造性)、Entrepreneurs (起業家) などの複数の柱を設け、関連情報などを発信しています。

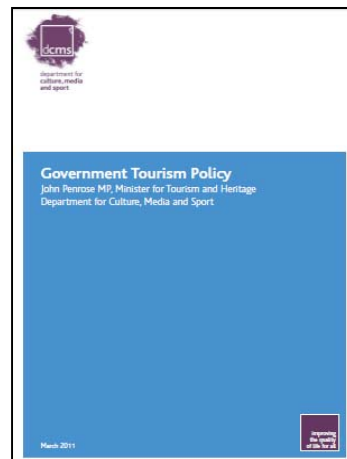
This is Great Britain

This is GREAT Britain Facebookページ  (英語) では、映画、ファッション、音楽、デザイン業界などの各界の著名人が交代で、楽しくためになる英国のさまざまな情報を直接配信しています。

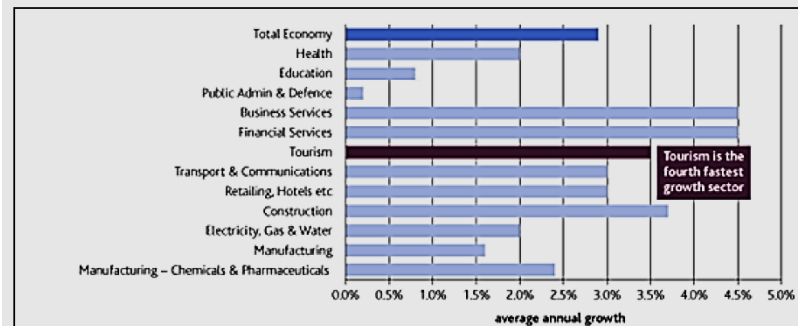
【参考】五輪外交 ～観光・経済政策

◆D・キャメロン現首相

- 積極的な観光政策 “イギリス観光政策(2011)” ←2010年8月演説



【2010～2020 年の各部門の GVA（粗付加価値）成長予測】



- 2010年11月9日 “財界要人50名”訪中 「史上最大の経済訪問団」
- 2013年12月1日 “財界要人100名”訪中 ツイッター(英語・中国語)
「中国にいる友人の皆さん、こんにちは。微博に登録できて嬉しく思っています。また、近く中国を訪問することを楽しみにしています」(ツイッターデビュー、10万人フォロー)



② 東京五輪2020に向けた展望

◆成熟社会のオリンピックを貫くテーマ

<「集客都市」の原理 ⇒ 社会的課題の解決>

【条件】オリンピックを単にスポーツの祭典と捉えず、
文化複合的なメガイベントの機会と捉える。

①「集客都市」の原理を軸とした都市再生 & 地方創生

“Tourist City”とは“Welcoming City” ~【資料】ホスピタリティの空間論

②日本各地に眠る地域資源の再発見 ⇒ 国内外発信

“プチ百貨店(デパ地下)モデル” ……地域資源を「再発見」して
国内 & 海外発信 「オールジャパン」×東京vs地方 ×ハードvsソフト

東京オリンピック2020(会場予定地)



①ヘリテッジゾーン

1964年東京五輪の遺産
=施設の活用

②東京ベイゾーン

臨海部、新設会場多い

【メイン会場】

新国立競技場(←旧・改築)
...8万人収容、全天候型
総工費約1300億円
2019年3月完成予定

【マラソンコース】

メイン会場 ⇒ 皇居 ⇒
東京タワー ⇒ 銀座 ⇒
日本橋 ⇒ 浅草(折り返し)

【コンパクトな大会】

90%近くの施設が、晴海・
選手村から半径8キロ以内

【参考】「集客都市」とは・・・ cf. 橋爪紳也『集客都市』 p.32~42

「その都市に住むもの、仕事を目的とした来訪者、観光客（また学生など数年の短期滞在者）を総体として、都市でのアクティビティーをなす主体として認知してみたい。その種の都市を「ツーリスト・シティ」と呼ぶ。」

◆＜ツーリスト・シティの成立条件＞

- ① 集客のための戦略性・・・（×狭義の観光だけ）広くホスピタリティ産業の振興
- ② 新たな集客魅力の創造・・・（×ハコモノ施設だけ）文化・価値などソフトの発信
- ③ 都市基盤の質的転換
「従来、観光や交流とは無関係であった諸機関、諸施設を、すべて集客やツーリズムの観点から読みかえることが必然となる。道路や鉄道、上下水道といった都市基盤、公園や教育機関、文化施設等に至るまで・・・ビジターの利用に提供するものという視点から、すべての質を見直すことがあってよい。」
- ④ 競争原理の導入とシティセールス・・・エリア・マーケティングなど
- ⑤ 財源の確保

★人々がまた訪れたいと思う環境づくり、それを介しての国内外への戦略的な文化・ソフト発信 cf. テーマ空間&コンテンツ(資源)

【参考】 近代型／現代型オリンピック

◆【近代】東京オリンピック1964 ～＜成長社会＞

～1960年代高度成長期、右肩上がりの「成長社会」

- ①都市のインフラ整備 …「成長社会」の社会基盤確立
- ②戦後復興と「平和国家」日本をアピール
…国際的なプレゼンス向上、「国威発揚」型オリンピック

◆【現代】東京オリンピック2020 ～＜成熟社会＞

～グローバル化の原理としての「情報化・消費化社会」

…現代社会の地平に位置づく「成熟社会」のオリンピック

★成熟社会のオリンピックで求められるのは…

⇒「レガシー」構想をつうじた「社会的課題の解決」

【資料】 ホスピタリティの空間論

◆ 二つの視点

- ①「ホスピタリティ(論)」を空間(論)的にとらえ直すこと
- ② 空間を「ホスピタリティ」の視点から解釈&デザインすること

◆ 多次元に及ぶ理論的・実践的課題 cf.受益主体・対照 (for whom)

- 
- (0) 対面的コミュニケーション …「おもてなし」の対人的スキル・サービス
 - (1) 場・施設(ファシリティ) …「テーマ空間」 “ユニバーサル・デザイン”
cf.羽田国際エアターミナル「江戸小路」
 - (2) 都市空間 …交通インフラ、都市再開発 “アクセシビリティ”
 - (3) 地域社会・コミュニティ …「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」
 - (4) 景観・景色 …Welcomingで快適な景観・演出 cf.防潮堤問題
 - (5) 国際関係 …観光面の国益,「訪れたい国」? ⇄ 東アジア問題
 - (6) 地球環境 …CO2排出、エネルギー・資源、公害問題

【参考】都市・交通インフラの整備

～ハード面での「集客都市」化の一局面～

◆現在進行形の動向(＝計画中も含む)

<航空>

- ・羽田国際空港化

<鉄道・バス・道路など>

- ・羽田～成田間の短縮・・・西東京駅(＝押上～泉岳寺間)
- ・ゆりかもめ・有楽町線ほか延伸
- ・環状2号線、BRT(＝バス高速輸送システム)
- ・高速3環状線(首都高中央環状線・外環道・圏央道)整備

<都市(再)開発>

- ・築地・新市場 ～「千客万来」施設(＝グルメ・フード空間)
- ・お台場カジノ構想
- ・虎ノ門ヒルズなど森ビルほか、都心部に数兆円のビル開発
- ・湾岸エリアの多数の大規模マンション開発

【参考】「千客万来」オープン予定

◆ショッピングモールの商業施設で世界クラスのおもてなし
⇒2016年3月完成, 年間420万人集客(予定)

【目的】 築地場外のにぎわいを継承、豊洲新市場の魅力向上 & まちづくりに貢献
...フードコート「まんぷく市場」(1100席)、都内最大級の「温浴施設」、
国内外の「調理器具市場」、ものづくりの紹介・体験「匠いちばん市場」など



【参考】和菓子ミュージアム東京 & 和菓子教室 イベントの取組み

- * 「和菓子ミュージアム東京」を正式名称として
 - ⇒愛称・キャッチフレーズを検討。
 - ⇒美術館のミッションを表象する、老舗の『菓祖神』に代わるシンボル・ロゴの作成。
- * 美術館＝静的施設というイメージの打破。
 - ⇒双方向・参加型コミュニケーションがある、動的な美術館を如何に構築するか。
 - ⇒どうすれば観客に「新鮮な驚き」を与えられるか。
 - ⇒「文化の伝達」とエンターテインメント性を如何に両立させ、心地良い空間を作るか
 - ＝Edutainment: 娯楽体験を通じて学べる施設。
- * 和菓子の魅力の表象 細見美術館の「Café Cube」ジャズ演奏会も→
 - ⇒美術館は「展示(静)から映像(動)へ」を標榜し、資料館としない。
 - ⇒和菓子の魅力を五感で楽しめる施設とするためのストーリー構築。
 - ⇒pre-show(導入部;入場までの演出)→main-show(館内演出;祭り)→post-show (ショップ、カフェの演出)。

